

令和3年度

社会福祉法人伯和会  
事業報告書

## I 基本的事項《基本理念》

法人の信条である「奉仕・博愛・寛容」に基づく介護サービスを信条にし、全職員と全利用者の物心両面の幸福を追求し社会福祉の発展を目指す事を目標にしてきたが、コロナ禍のため外部との交流をはじめ実現が難しかった。

## II 経営組織のガバナンスの強化

### 1 理事会

→財務諸表や業務執行などの適切な公表に努めた。

### 2 評議員会

→法人運営の基本ルール・体制の決定と事後的監督を行った。

### 3 監事

→法人の業務監督及び財務諸表の一層の適正化と透明性の強化を図るべく税理士および市の監事に監査をお願いした。

## III 事業運営の透明性の向上

### 1 財務諸表・現況報告書等の公表。

→財務諸表・現況報告書等の設置・閲覧やホームページでの公表を適切に行い、法人運営の透明性の確保を図った。

### 2 役員報酬基準の作成

→作成準備をするも、コロナにより文書決裁に終わり、報酬の議題まで至らなかった。

## IV 財務規律の強化

### 1 社会福祉充実残額の明確化

→会計年度ごとに控除対象財産、社会福祉充実残額を明確にした。

### 2 社会福祉充実計画の作成と実施

→令和3年度については、社会福祉充実残額はマイナスの為、法人が策定する社会福祉充実計画は作成していない。

## V 地域公益活動の実施

### 1 地域公益活動の検討と具体化

→地域の独居高齢者、障害者、経済的に困窮する者等を支援する、福祉ニーズに応ずるサービスを構築するよう計画しようとしたが、コロナ禍により実現できなかった。今後も実現に向け努力していく。

## VI 事業収入の安定的確保

### 1 事業収入のアップや各種加算の確保などにより事業収入の安定を図る

→一定以上の稼働率に努められたことで概ね達成し事業収入安定に繋がった。各種加算

について適宜見直しを行ったが、人員体制等要件を満たす難しさと、書類の煩雑さで取得まで繋げられなかった。次年度も引き続き取得するよう検討していきたい。

## 2 財務管理の強化と経費削減

→予算管理の徹底や財務管理体制の強化を図ったが、建物本体の老朽化もあり、令和3年度は246万円ほどケアハウスの屋根にかかっている。少ない予算でも今後継続していきたい。

# VII 良質な福祉サービスの提供

## 1 利用者の人権人格の尊重

→令和3年度は、世界的にコロナウイルスが流行したことから、研修会等集まることができず書面による啓発を行った。

# VIII 人材確保と育成

1 各委員会の活動を通してサービスの質の向上のための取組を推進する。

→各委員会を開催し、目的の周知と現場に寄り添う形での取り組みを意識して行った。

2 利用者、職員にとって、より安全で安楽な介護を目指す。

→環境の見直しと、介護技術、知識の向上を図った。また、入居者の過去の事故を振り返り2度と同様の事故を繰り返さないよう努めた。またそういう人材を育てていくように努めた。

3 利用者の自立支援促進や、職員の健康管理のため福祉・介護機器の導入を検討する。

→利用者への統一した対応の実施で自立支援を行った。機器については、予算と選定等の検討を行ったが導入まで至らなかった。

4 サービス評価の実施

→CSの定期的実施や第三者評価を通じてサービスの点検と改善を図ろうとしたが、コロナの関係より実施できなかった。次年度以降の課題としたい。

# IX 組織の活性化

1 職員の労働環境の整備

→職員の処遇改善や職場環境の整備に努め、職員がいきいきと働く事を目指した。

2 人事考課制度の導入とキャリアパスの構築

→人事考課を取り入れ、個々のレベルアップと組織の活性化を図った。

3 職員の満足度調査等の実施

→ストレスチェック等を実施し、ワークライフバランスの乱れや体調不良の継続などでの離職の防止に努めた。

4 ICTの積極的活用

→利用者支援の充実や業務効率化推進のため、ICTを積極的に活用出来るか検討したが、予算と機械選定のおり合いが合わず、タブレットの使用までにとどまった。また、コ

コロナウイルス蔓延 2 年目の為、自粛に繋がり計画に元付く進行が思うようにできなかった。

## X 危機管理の強化

### 1 コンプライアンス体制の強化

→内部牽引体制の強化や情報管理の徹底、各種法令や基準を遵守し、法人としての信頼性を向上させることに努めた。

### 2 危機管理の強化

→リスクマネジメント教育を強化し、安全、安心な体制を構築するよう努力した。

### 3 防災対策の定期的見直しと訓練の実施

→年 2 回の避難訓練の実施、防災機器の点検を実施

## <法人運営事業>

### ① 法人運営の基盤強化経営体制の強化

→理事会・評議員会への審議、監事による業務及び財産の状況など、監査の実施により、適正な法人施設経営が実施できた。公認会計士による財務会計事務処理体制の向上を目指し適正な財務管理を行うよう努めた。

### ② 自主財源の確保

→多くの企業様や支持いただける方々を募り強力に推進したいと考えたが、実質そのような状況になかった。

## 理事会・評議員会開催日程

令和 3 年度第 1 回理事会	令和 3 年 6 月 8 日	文書により実施
令和 3 年度第 1 回評議員会	令和 3 年 6 月 25 日	文書により実施
令和 3 年度第 2 回理事会	令和 3 年 6 月 25 日	文書により実施
令和 3 年度第 3 回理事会	令和 3 年 11 月 13 日	文書により実施
令和 3 年度第 4 回理事会	令和 4 年 3 月 17 日	文書により実施

令和3年度

特別養護老人ホームえんじゅ  
事業報告書

社会福祉法人 伯和会

特別養護老人ホーム えんじゅ

# 令和3年度特別養護老人ホームえんじゅ施設運営方針

## I. 施設サービス向上のために

- 1、法人の信条である「 奉仕 ・ 博愛 ・ 寛容 」を基本とし、えんじゅ理念「笑顔で明るく、元気良く、優しさを持って接します」「心地良い生活と環境を提供します」「自由で楽しい暮らしを目指します」の3つの柱をもとに、ご入居者それぞれのニーズに合った施設サービス計画書（ケアプラン）を作成し、今までの生活習慣や個人の意思を大切にするとともに、自己決定、自己選択や残存能力の活用を図ることで、少しでも自立した質の高い生活が送れるよう支援に努めました。
- 2、介護給付対象サービスとして、入居者に対し、入浴、排泄、食事等の介護、相談等の精神的ケア、社会生活上の便宜、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上のお世話を提供しました。
- 3、社会福祉法人制度改革、費用負担の公平化、介護保険の改定など施設運営が大きく変化している情勢に対応する為、施設運営における課題、問題点の把握、検証と改善に向けた実践に取り組み、安定した運営と魅力ある施設作りに努めました。また、社会に対し社会福祉法人として求められていることを一つずつ実践していくよう努めました。加えて、職員の自己研鑽による一人一人の質の向上と、地域住民として共に暮らすことを視点とした開かれた施設を目標として、安らぎのある地域社会を作り出せるような施設運営を行いました。

### 《特別養護老人ホームえんじゅ 理念》

- ・笑顔で明るく、元気良く、優しさを持って接します。  
(笑顔で優しい声掛けを行います)
- ・心地良い生活と環境を提供します。  
(清潔保持に努めます)
- ・自由で楽しい暮らしを目指します。  
(自己決定を尊重します)

### 《ワーカー心得》

- ・相手の立場になって物事を考えます。
- ・何故、どうしての問題意識を持ちます。
- ・分からないことはすぐ聞きます。
- ・積極的に行動します。
- ・情報を共有します。

## II. 在宅福祉サービスの向上のために

1. 各関係機関との協力体制を図りました。
2. 地域に支えられた施設であるとの認識を持ち、専門的な働きかけに努めました。
3. 在宅福祉の充実の為に施設の資源を提供し、地域との交流を積極的に推進しました。
4. 短期入所事業を行うと共に各種の福祉サービスの利用法について啓蒙しました。

## III. 職員が安心して働けるために

1. 働きやすい職場作りと、勤労意欲の向上を図りました。
2. 給与充実の為、介護給付費の処遇改善加算・特定処遇改善加算について「加算Ⅰ」が継続できるよう、体制の整備を行います。
3. 職員健康診断（年2回）とストレスチェック（年1回）を実施するとともに適宜面接や面談を実施し、職員の健康管理に努めました。

## IV. 適正な事務の遂行

適正な施設運営を実施するために

1. 各種規定に基づいた事務を実践しました。
2. 予算の適正な管理及び執行をしました。
3. 業務の効率化を図りました。
4. 職種間の連絡、周知を徹底しました。

## V. 施設設備・備品の保全・改修

1. 中間浴槽について  
平成19年に購入した中間浴が故障により使用不能となり、新しい機種への入れ替えを実施しましたが、世界的な半導体不足から納品が遅れており、現在はデモ機で稼働中。令和4年5月17日に入荷予定となっています。
2. 汚物除去機について  
開設時に設置し老朽化が進んでいたことから、入れ替えを実施しました。衛生面やコスト面を配慮し、既存の16kgサイズから8kgサイズへコンパクト化を図りました。
3. 介護用品・その他備品の整備  
老朽化や経年劣化に伴い、交換や修理が必要な状況が増えていたことから、優

先順位の高い物から順次修理または入れ替え、追加購入（リクライニング車椅子、ビームセンサー、センサーマット、スライドボード、ポジショニングクッション）を実施しました。また、入居者の重度化に伴い、エアマットや耐圧分散マットの需要も高まっていることから、リース台数を追加しました。

#### 4. その他

令和4年3月16日に発生した地震により防煙ガラス、大型テレビ、滅菌装置、プリンター等が破損しましたが、怪我人等、人的被害はありませんでした。

## VI. 安定的経営基盤の確保のために

1. 安定した収入の確保に努めました。
  - ・事前実態調査を適宜実施することで入退居による空床期間を少なくし、一定期間内で円滑に入退居が行えるようにしました。
  - ・水光熱費、備品等の管理、見直しを適宜行い、経費節減を図りました。
2. 施設の設備・備品等の更新・改善を行いました。
  - ・入居者の重度化に伴い、各種福祉用具等備品の整備を行うと共に、状態に合わせた用具の購入を実施しました。
3. 人材の確保に努めました。
  - ・ハローワークへの情報提供を積極的に行いました。
  - ・キャリアパス制度の構築、研修制度などの整備を行い、知識、技術の習得が行えるようにしました。
  - ・新入職員に対し、補助金を活用して初任者研修を受講させました。
4. 自然災害等に対しての備えを整備します。
  - ・非常災害時（地震、火災、噴火等）を想定した研修や訓練を計画・実施し、非常時の入居者、職員が安全に行動し避難が行えるように努めました。また、SNSを活用した連絡体制の構築も進めました。

## VII. 人材育成ならびに業務改善に向けた取り組み

1. 現在の業務内容についての再確認（手順書の作成とマニュアル見直しの実施）を行う事で業務の見える化・情報の共有を図り、業務の標準化・統一化を進めました。
2. コロナ感染症拡大により、研修や勉強会については小規模化・リモート化へと移行しました。
3. 『伯和会と職員の皆さんとの約束事（クレド）』と『伯和会職員の「自分ルール」』に記載されている内容を職員が意識的に実践できるように働きかけ、職員誰もが笑顔で気持ちよく働ける環境づくりを進めました。
4. ケアワーカーリーダー1名、ケアワーカーサブリーダー1名を配置し、業務調整の円滑化を図りました。



## 令和3年度施設援助方針

### I. 日常生活介護

施設サービスは、えんじゅ職員が、ご入居者一人ひとりの施設サービス計画に基づいて提供しました。ご入居者の意思を尊重し、自立支援を念頭に、個々のニーズに沿った支援に努めました。ご入居者の変化しやすい心身状況や日々変化する日常に合わせて、適切なサービスの提供に努めました。

#### 1. 食事

食事は、コロナ禍においても原則的に食堂で顔を合わせて召し上がっていただきました。ご入居者の状態に合わせて自助具等を使い残存機能を最大限に活用して、できる限り自力摂取ができるよう支援しました。食生活の重要性を認識し、管理栄養士による栄養ケア計画を作成し、ご入居者の健康状態を多角的に評価し、食からの健康維持・意欲向上を図れる事を目標に食事提供を実施しました。栄養バランス・味付け・調理方法等について、身体的条件、嗜好等を配慮し、ご入居者が健康で楽しい生活を送る上で最も大切なもののひとつとして提供に努めました。その時々季節も感じて頂ける様季節食や行事食も提供しました。

#### 2. 排泄

排泄は、可能な限りトイレをご利用いただきました。そのために常にトイレの清潔の保持に努めるとともに、トイレ内にある手すりや緊急コールボタンを利用し、安心して快適に使用できるようにしました。また、個人の排泄パターンを把握するために調査を実施、排泄記録をつけポータブルトイレ等の活用、リハビリパンツ、尿取りパッド等とトイレ誘導の併用により、できるだけオムツを使わない方法を目指しました。オムツは、座位が取れない、尿意・便意が無い、ご入居者の体調不良等、やむを得ない場合に限り使用させていただきました。オムツ交換及びトイレ誘導は、各個人ごとに調査した排泄パターンを元に、時間や支援内容を設定し実施しました。

#### 3. 入浴

一般浴槽故障中につき、機械浴（シャワーベッド）、中間浴（チェアインバス）の2種類の入浴方法を用意し、ご入居者の身体の状態に応じた入浴サービスを提供しました。また、ショートステイ利用者との濃厚接触を避ける為、長期入居者の午前中入浴を廃止し、午前：ショート利用者、午後：長期入居者の体制で入浴を実施しました。そのことに伴い、入浴日は、ご入居者1人あたり週2回を基本とし、ゆとりをもった、楽しみのある入浴サービスを提供できるよう、入居者を4グループに分け入浴を実施しました。入浴できない方に対しては清拭や衣類交換を行いました。

#### 4. 着替え

入居者一人ひとりの身体の状況をよく見極め、衛生面に留意しながら着替えの支援を行いました。着替えを行うことで衛生面だけではなく、気持ちのリフレッシュを図りメリハリを付ける事で生活全体にリズムを取りやすくし、意欲の向上へ繋げられるよう支援しました。

#### 5. 移動、移乗、体位変換

ベッド、椅子、車椅子、便器、浴槽等の間の移動・移乗は安全性を十分考慮し、ご入居者の身体の状態に合った方法で行いました。また、杖、歩行器、シルバーカー等の補助具を有効に活用し、できる限り自立移動ができるよう支援しました。

自分で寝返りをうつことのできないご入居者に対しては、褥瘡（床ずれ）を防止するために、体位変換の介助、体位変換チェック表の使用も行い、確実に実施できるよう努めました。必要に応じて、クッション、エアマット、褥瘡予防マット等を使用しました。

#### 6. 口腔衛生

夕食後に口腔ケアを実施し、その他口腔内トラブルのリスクが高い方や体調不良者、看取り期に入った方に関しては、都度口腔ケアを実施しました。ご入居者の状態に合わせて、必要かつ適切な口腔ケア用品の使用を行い、歯磨き、うがい、スポンジブラシによる口腔内の拭き取り、義歯の洗浄などを支援しました。口腔衛生は、ご入居者の健康増進・維持に不可欠であるため、嘱託の歯科医師等の協力を得て、ご入居者の口腔衛生介助の充実を図りました。

#### 7. 整容

整髪、爪切り、髭剃り等を適宜行いました。また、外出や行事の際には、ご要望により、お化粧品やお洒落のお手伝いをしました。

#### 8. 介護用品の選定及び衛生維持、安全点検

ベッド、エアマット、クッション、車椅子、歩行器、杖、介護テーブル、ポータブルトイレ、入浴補助具等の介護用品については、使いやすさと安全性から選定し、その清潔の維持および安全点検に努めました。

## II. 日常生活援助

施設での生活の充実を図るため、ご入居者一人ひとりの生活状況に応じた支援を行いました。

### 1. 居室環境の整備

ご入居者の意向を尊重しながら、心身の状態、人間関係に配慮しつつ、ご入居される皆様が快適で居心地の良い居住空間を確保できるように努めました。又、介護の安全性を確保するため、必要に応じて居室の変更を行いました。

## 2. 買い物及び代行

何らかの理由により買い物ができない利用者の方々へは、日用品の買い物を職員にて代行しました。また週に1回近隣の商店（岡崎商店様）の協力をいただき、施設での買い物も出来るようにしました。

## 3. 洗濯

日常の衣類の洗濯、乾燥、居室への返却を行ないました。衣類の素材の状況に応じて、傷まないような適切な洗濯方法を選び、洗濯を行わせていただきました。

## 4. 理容

頭部の清潔とお洒落を楽しんでいただくため、原則として毎月第2月曜日、理容師によるサービスを提供しました（ご入居者実費負担）。ご本人の希望を伺い、理容組合の方々とも相談しながら、頭の形や髪質などにも気を配りながら行わせていただきました。

## 5. 外出、外泊

コロナウイルス感染症の流行を鑑み、不要不急の外出・外泊は極力控えました。

## 6. 金銭管理

ご希望がある場合は、現金、預・貯金の通帳、印鑑等の管理の他、施設利用料や公共料金等の支払い等を担当者にて適切に代行しました。（預り金等取扱規程に基づき、利用料を負担していただきました。）

## 7. 行政手続等の代行

ご入居者のご要望に応じて、市町村等に提出する書類の代筆、申請の代行、郵便物等の投函等を、その都度、担当者にて適切に代行しました。

## 8. 要介護認定に関する代行、認定調査の付き添い

要介護認定の更新・変更申請をご入居者、ご家族に代わって行いました。また、更新調査における付き添いを行わせていただき、ご本人の状況などを更に詳しく調査員の方へお伝えさせていただきました。

## III. 健康管理

ご入居者が健康で快適な生活を営めるよう、疾病の早期発見・早期対応に努め、生活の自立性を低下させないように支援しました。

### 1. 日常の健康管理

ご入居者の健康状態の細かな観察に努め、嘱託医および協力病院への連絡、職員間の情報交換を図りながら、健康維持に努めました。

### 2. 定期健康診断

胸部レントゲン撮影、心電図、血液検査を、年に1回実施しました。

### 3. 体重測定

毎月実施し、前月との著しい増減等がないか確認しました。体重変化に著

しく違いが生じるご入居者や、栄養状態のチェックが必要なご入居者に対しては、その都度実施しました。

#### 4. 体温・血圧・脈拍等の測定

週 2 回の入浴前に定期的に体温、血圧、脈拍等の測定を実施しました。その他、体調に変化が見られた際は必要に応じ、適宜測定を行いました。

#### 5. 食事・水分摂取・排泄の把握

チェック表により、毎日の食事摂取量を把握しました。摂食不良時は、医師の指示の下、看護職員、管理栄養士、介護職員、介護支援専門員が連携して、その時の状態に合った食事提供（必要な栄養素の確保）・水分補給ができるように対応し、その後の経過をみながら食事内容については必要に応じ調整を行い、食事摂取量の安定に繋げていけるようにしました。

便秘時には下剤の服用の他、なるべく自然排便を促すような漢方や乳酸菌飲料等を提供し排便のコントロールを行いました。

#### 6. 医師の診察

月 4 回、嘱託医（内科医）が来診する他、月に 1 回、精神科医が来診しました。通院あるいは入院しての診療が必要な場合は、看護・介護職員が付き添い、施設車両にて送迎をしました。

#### 7. 口腔衛生

ご入居者の状態に合わせて、必要時は歯科医師へ相談し、助言を頂きながらご入居者一人ひとりの口腔衛生状態、支援内容の充実を図ると共に、誤嚥性肺炎の予防等に努めました。

#### 8. 服薬

医師の診察のもと、病状に応じて、ご入居者に服薬していただきました。

#### 9. 医療機関との連携

協力医療機関との連携を密にし、日常の健康管理について適切な指示を得るとともに、緊急時の受け入れ体制を確保しました。

#### 10. 夜間緊急時の対応

看護職員が不在になる夜間・早朝帯のご入居者の容態の急変に待機の看護師が対応しました（オンコール体制）。

#### 11. 感染症等の予防

新型コロナウイルス感染症について注意深く情報収集を行い、流行の動向をみながら、外部からの受け入れ・面会対応等について、嘱託医と協議しながら対応を検討しました。接種を希望しない方を除き、入居者・職員に対して新型コロナウイルスワクチン予防接種を 3 回実施しました。また、新型コロナウイルスの他、風邪やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防対策として、ご来所者や職員に対して、検温や手洗いの励行、密を避けた生活様式の実践について周知に努めました。11 月には、希望するご入居者に対してインフルエンザ予防接種を実施しました。高齢者施設で発生すると蔓延しやすい疥癬

や食中毒等は、特にその予防に努めました。

## 1 2. 職員の健康管理

年2回の職員健康診断を実施するとともに、日々、職員の健康管理に努めました。直接処遇の介護職員については、年に2回腰痛検査を実施しました。また、年1回のストレスチェック実施により、精神衛生面での健康についても配慮しました。加えて、健康診断・ストレスチェックの結果を踏まえた産業医面談も随時実施しました。

令和3年度嘱託医・協力病院

令和4年3月1日現在

《嘱託医》

1、内科医

水野内科クリニック

水野圭司 先生 毎週月曜日 午後  
水野友貴 先生

2、精神科医

仙南サナトリウム

渡辺吉彦 先生 毎月第三金曜日

3、リハビリテーション担当

柔道整復師

黒木雄大 先生 毎週水曜日

《協力病院》

1、刈田総合病院（白石市）

2、歯科医

広瀬歯科医院

廣瀬清憲 先生 随時

## 令和3年度防火、防災訓練

避難が困難なご入居者が多い為、定期的な訓練を実施し、ご入居者及び職員に対し防火、防災意識の高揚と地域消防団、地域住民の協力体制を推進し確立する事を目指しました。

1. 非常災害対策計画に基づき、個別の防災対策の周知徹底に努めました。
2. 個別の避難方法を検討しました。
3. 夜間及び休日の防災体制を確立しました。
4. 消防設備器具、危険物施設の定期的な点検を実施しました。
5. 災害時の非常食については、常時三日分を備蓄、保管しました。
6. 緊急連絡網の確立を図りました。
7. 避難訓練実施状況

### <避難訓練>

- 1、日時 令和3年5月20日 午後3時45分より
- 2、目的 施設入居者の大半が障害を持ち、寝たきりや車椅子、杖などを使用しています。これらの特殊性を鑑み、災害に対応する為、えんじゅ併設施設の特別養護老人ホームみずきやケアハウスやまぶき・デイサービスセンター茶園及び白石市総合福祉センターとの共同防災により、通報、避難、誘導を行うことで、防災体制の確立を目的として行いました。
3. 訓練内容 放送訓練・消火訓練・避難誘導訓練・非常持ち出し訓練
4. 出火時間 午後3時45分
5. 出火場所 特別養護老人ホームえんじゅ 洗濯室
6. 避難場所 えんじゅ食堂及び西側廊下
7. 職員構成 職員勤務中による訓練

### <夜間想定避難訓練>

- 1、日時 令和3年11月12日 午後3時30分
- 2、目的 空気の乾燥が増し、火気の取り扱い機会も増える時期となる為、火災への注意を促し、より一層の防災予防の意識を高めることを目的としました。えんじゅ併設施設の特別養護老人ホームみずきやケアハウスやまぶき・デイサービスセンター茶園及び白石市総合福祉センターとの共同防災で実施し、通報、避難、誘導を行うことで、防災体制の確立を図りました。
3. 訓練内容 放送訓練・消火訓練・避難誘導訓練・非常持ち出し訓練
4. 出火時間 午後3時30分
5. 出火場所 特別養護老人ホームみずき 汚物処理室
6. 避難場所 えんじゅ正面玄関前
7. 職員構成 職員夜間勤務中（想定）による訓練

## 令和3年度 えんじゅ短期入所生活介護事業計画

### 短期入所生活介護事業方針

・短期入所の特徴の一つとして、在宅から施設、施設から在宅と環境が常に変化することが上げられ、生活状況が少なからず違う部分があります。利用前の在宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、利用者同士が相互に社会的関係を築き、自立的な日常生活を営めるということを念頭に置いて支援しました。また、住み慣れた自宅や生活を共にされてきたご家族らと離れる事により、心理的負担というものがご利用者の皆様には大きいものと考え、一人ひとり向き合い、そして寄り添い、個々のニーズにあった支援を行う事で安心、安全な生活を提供させていただきました。

### 短期入所生活介護援助方針

- ① 短期入所生活介護の基本定員は10名で行い、居室も専用の居室を準備しました（4人部屋2室、個室2室を使用）。その時々のご利用者の方々の身体状況、精神状況などを重要視しながら、安心かつ安全な、在宅と施設の生活が連続性のあるものとなるよう支援しました。
- ② 短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護含む）は、在宅での生活が可能な状態の方で、要介護度が要支援1から要介護5までの方が対象となります。但し、要介護度の利用限度範囲を超えた方については、実費利用と適切な対応により受け入れ対応しました。
- ③ 施設サービス提供にあたり、ご利用者の皆様には介護支援専門員を中心とし、ご利用者の皆様の在宅ケアプランに添った施設ケアプランを作成しました。食事、入浴、排泄などその方に合った形でのサービス提供に努めました。また、入所時より、バイタルチェックを行うと共に自宅における状況、変化、必要な処置等の有無など確認し、利用者の皆様の健康管理に留意しました。
- ④ 日常生活支援については、一人ひとりの利用者の方々に併せた余暇時間を通しての協同作成物の一連の作業～掲示、レクリエーションの実施、季節に応じた行事の開催、手作り昼食会の開催など、個人の持つ潜在能力に働きかける支援内容にて、意味のある個人の存在の理解、役割のある日常を心がけ支援しました。
- ⑤ 退所時においては、短期入所生活介護利用中における生活の様子をお伝えし、在宅へ帰宅してからの生活が継続出来る様に支援しました。
- ⑥ 利用料の支払い方法について、現金支払いから口座引き落としへ変更しました。



# 施設入所実績報告書

利用年月：令和4年3月  
 サービス：51 福祉施設  
 事業者：特養 えんじゅ  
 表示項目：収入実績等

## 1. 収入実績

令和4年	介護サービス費				特定入所介護サービス費						合計	平均/日		
	保険請求	公費請求	利用負担	公費負担	食費		居住費		公費負担	利用料			軽減額	
					保険請求	公費請求	利用負担	公費請求						利用負担
今月(3月)	16,297,438	81,552	1,721,360	40,550	1,355,160	37,200	1,119,050	945,483	0	661,980	8,530	564,662	22,806,088	735,680
先月(2月)	14,233,722	82,306	1,500,702	28,000	1,239,380	33,600	992,780	833,851	0	593,280	8,400	464,048	19,985,869	713,781
令和3年3月	15,663,809	95,188	1,630,843	56,250	1,572,072	45,600	812,760	955,564	0	634,370	17,461	563,575	22,026,084	710,518

## 2. 利用者介護度別

介護度	令和2年度 3月	令和3年度												合計	平均/月			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
		要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	95
要介護4	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	377
要介護5	21	21	22	22	22	22	24	21	21	21	21	21	21	21	20	21	23	259
在籍計	60	60	61	61	61	61	61	60	60	60	60	61	61	61	61	61	63	731
総介護度	253	253	254	258	258	258	258	253	254	254	257	261	257	266	256	257	266	3,088
平均介護度	4.22	4.22	4.23	4.23	4.23	4.23	4.28	4.22	4.23	4.23	4.21	4.21	4.21	4.22	4.20	4.21	4.22	50.69
利用(在所) 日数 (60床)	1,832	1,753	1,844	1,771	1,835	1,835	1,838	1,798	1,845	1,845	1,827	1,875	1,847	1,852	1,847	1,625	1,852	21,710
入院	1,860	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,860	1,860	1,860	1,860	1,680	1,860	21,900
外泊	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
延日数	28	35	5	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52
居室稼働率(%)	98.49	97.39	99.14	98.39	98.66	98.82	99.89	99.19	101.50	100.81	99.30	96.73	99.57	99.12	1,189.39	99.12	99.12	99.12
令和2年度 利用(在所) 日数		1,791	1,857	1,786	1,845	1,855	1,800	1,853	1,709	1,827	1,822	1,638	1,832	1,801.25	21,615	1,832	1,832	21,615
令和2年度 居室稼働率(%)		99.50	99.84	99.22	99.19	99.73	100.00	99.62	94.94	98.23	97.96	97.50	98.49	98.69	1,184.22	98.49	98.49	98.69

# 短期利用実績報告書

利用年度：令和3年度  
 サービス：21 短期入所  
 事業者：特養 えんじゅ  
 表示内容：利用実績表

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	28	29	27	29	29	28	27	25	23	22	18	22	307	25.58
利用延日数	257	238	243	274	277	276	288	271	268	230	158	203	2983	248.58
実収入	2,576,289	2,456,431	2,469,992	2,786,965	2,859,458	2,834,813	3,299,259	3,104,783	3,106,086	2,658,503	1,831,491	2,292,869	32,276,939	2,689,745
実収入/日	85,876	79,240	82,333	89,902	92,241	94,494	106,428	103,493	100,196	85,758	65,410	73,964	1,059,335	88,430
居室稼働率(%)	85.67%	76.77%	81.00%	88.39%	89.35%	92.00%	92.90%	90.33%	86.45%	74.19%	56.43%	65.48%	978.96%	81.58%
前年比(%)	87.42%	83.50%	88.04%	108.31%	108.62%	110.40%	119.99%	120.44%	128.23%	109.01%	71.17%	82.52%	1217.65%	101.47%

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	24	24	26	22	23	21	24	28	24	24	23	25	288	24.00
利用延日数	294	285	276	253	255	250	240	225	209	211	222	246	2966	247.17
実収入	2,852,929	2,698,228	2,803,245	2,513,162	2,576,361	2,525,208	2,407,894	2,294,699	2,090,183	2,175,132	2,278,812	2,461,860	29,677,713	2,473,143
実収入/日	95,098	87,040	93,442	81,070	83,108	84,174	77,674	76,490	67,425	70,166	81,386	79,415	976,488	81,309
居室稼働率(%)	98.00%	91.94%	92.00%	81.61%	82.26%	83.33%	77.42%	75.00%	67.42%	68.06%	79.29%	79.35%	975.68%	81.31%
前年比(%)	160.66%	133.19%	161.40%	135.30%	108.98%	115.21%	73.17%	72.12%	83.94%	84.39%	91.24%	81.72%	1301.31%	108.44%

平成31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	25	25	19	25	25	26	28	29	24	26	24	26	302	25.17
利用延日数	183	214	171	187	234	217	328	312	249	250	252	301	2898	241.50
実収入	1,686,390	1,926,290	1,562,560	1,735,760	2,215,790	2,026,800	3,326,386	3,081,501	2,403,842	2,340,513	2,433,603	2,907,198	27,646,633	2,303,886
実収入/日	56,213	62,138	52,085	55,992	71,477	67,560	107,303	102,717	77,543	75,500	83,917	93,781	906,226	75,537
居室稼働率(%)	61.00%	69.03%	57.00%	60.32%	75.48%	72.33%	105.81%	104.00%	80.32%	80.65%	86.90%	97.10%	949.94%	79.16%
前年比(%)	58.65%	77.82%	68.95%	77.91%	108.32%	121.91%	167.34%	150.72%	105.95%	122.55%	308.05%	222.96%	1591.14%	132.60%

令和3年度  
デイサービスセンター茶園  
事業報告

社会福祉法人伯和会

デイサービスセンター茶園

## 運営方針

法人の信条である「奉仕」「博愛」「寛容」を基本とし、ご利用者の人権・人間性を尊重して在宅福祉サービスの目的と意義の実践に徹しました。「安心・安全」「自立支援」「快適」といった基本に基づきながら、ご利用者の心身の特性を踏まえてその有する能力に応じた自立した生活が営むことが出来るよう支援するとともに、ご家族の介護負担軽減に寄与できる事業所となることを目指しました。令和2年4月1日より地域密着型通所介護に移行したことで、より身近な施設といわれるように努めました。

## 重点目標

- ・ 要支援・要介護者の心身の特性・生活環境・残存機能等を踏まえて、その有する能力に応じ自立した生活が営めるように支援しました。
- ・ 職員一人一人が自己啓発目標を掲げ、接遇及び介護技術の能力、質の向上を図りました。
- ・ 利用者から「どのように見られ、思われているか」を常に意識してケアを行いました。
- ・ ご利用者側の視点に立ちできることを増やすことで、生活意欲が持てるよう支援しました。
- ・ 地域関係市町村・地域保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めるとともに、より身近な関係者（民生委員、自治会長等）と定期的な運営推進会議を実施しました。

## 事業報告（地域密着型通所介護）

### 1 基本サービス主要実施概要

#### ① サービス提供時間

- ・ 9時30分から16時30分の7時間です。

送迎は、状況に合わせ1車両によるピストン送迎も実施しました。

#### ② 利用定員

- ・ 18名です。

#### ③ 相談指導

- ・ 送迎時や電話、連絡帳、茶園便り等を通し、相談や助言を行ないました。

#### ④ 健康管理

- ・ 毎利用時に、表情などの状態確認、血圧、脈拍、体温の測定、月1回の頻度での体重測定を行い、各利用者の健康状態の把握に努めました。

- ・ 排泄状況・食事摂取量・水分摂取量・精神状態など観察しました。

#### ⑤ 機能訓練(レクリエーション)

- ・介護予防の観点からより効果的に心身機能の維持・向上が図れるよう、各利用者の状態及び主体性を重視した内容のレクリエーションを実施しました。
- ・月1回程度の割合で行事を取り入れ、季節感や社会との繋がりを実感できるようにしました。
- ・利用者の趣味や特技を生かした活動を積極的に実践しました。

#### ⑥ 入浴

- ・身体の清潔保持と精神的な満足感が得られるよう、利用者の身体状況に応じた入浴または清拭を行いました。

#### ⑦ 食事

- ・利用者の嗜好並びに状態に応じた食事を提供しました。行事の際は、季節に合わせた献立内容を考え、見た目にも楽しめる食事が提供できるようにしました。

#### ⑧ 口腔ケア

- ・口腔ケアの重要性について、職員・利用者・家族等に周知徹底しました。

### 2、職員の資質向上

- ① 法人内外の会議・研修会等に参加し、福祉・介護に対する知識・技術の向上と、自己覚知からの本質的な資質向上を行いました。
- ② 他施設や各方面からの情報収集を行い、各事業所の長所を参考にしてサービスの見直し・向上を図りました。

### 3、地域との交流活動

- ① 地域と密接した在宅福祉サービスを図るため地域の習慣や風土を理解し地域の拠点としての福祉サービスのネットワーク作りに努めました。
- ② ボランティアの受け入れ、活用を行い、地域と顔の見える関係性の構築に努めました。

### 4、防災対策

- ① 伯和会災害マニュアルの周知を行い、災害時の対応、避難方法等について職員、ご利用者が迅速に対応できるよう避難訓練等を行いました。
- ② ご利用者、ご家族との緊急時の安否確認や連絡方法等を作成しました。

### 5、年間目標

- ① 地域密着型通所介護の利用定員は1日18名で越えてはならないと決まっている中、年間稼働率85%以上(1日平均15.3名)を目標としました。その為の活動として、新規利用者獲得のための市内外の介護支援専門員への働きかけ(空き情報提供や介護支援専門員との関係性作り)を行いました。また、他事業所との交流なども通して

地域の状況やニーズの把握に努めました。

- ② 地域密着型への移行に伴い、各種加算の見直しを行い、介護報酬が最大限得られるように努めました。
- ③ 登録者以外の臨時利用についても、こちら側からご利用者、ご家族の要望等を聞いて臨時利用の対応を行って、利用者数の確保に努めました。

## 6、設備、備品

- ① 脱衣場での更衣の際、スクリーンの足元キャスターに躓く利用者がいる為安全面の配慮として天井から吊るすようなカーテンの設置を検討しました。浴室、脱衣場共にカーテンが劣化している為、購入検討しました。
- ② 浴室、ホールと南向きであり、夏場はよしず等で暑さ対策をしましたが冷房能力が追い付かず、室温が30度を超えるような状況となる場合が見られており、更にシートによる遮光などを行いました。
- ③ 新たなレクや質の向上を図るため、高齢者介護をサポートするレクリエーション情報誌「レクリエ」の年間購読を活用しました。

### I. 令和3年3月最終週の登録者：定員18名

月		火		水		木		金	
16		14		14		16		17	
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
2	2	10	14	9	3	2			
実登録人数 42名				延べ登録人数 77名					

※要介護度別人数は3月のレセプト情報より集計

※総合事業対象者の要支援1相当は要支援1、要支援2相当要支援2へ含む

### II. 令和3年度利用状況 ※1か月延べ利用人数

利用月	通所介護	1日あたりの平均	予防、総合事業	1日あたりの平均	1か月合計人数
4月	273	13.0	25	1.2	298
5月	220	12.2	24	1.3	244
6月	254	11.5	28	1.3	282
7月	246	11.2	31	1.4	277
8月	246	11.2	29	1.3	275
9月	252	11.5	30	1.4	282
10月	237	11.3	20	2.0	257
11月	247	11.2	28	1.3	275
12月	227	11.4	25	1.3	252
1月	210	10.5	20	1.0	230
2月	213	10.7	25	1.3	238
3月	246	10.7	19	0.8	265
年合計	2,871	11.4	304	1.6	3,175

### III. 活動内容

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
4月	棒体操	数字合わせ	ペタンク	制作物	鯉のぼりゲーム
5月	割鍋閉蓋	グッとタイミング	ボールスライダー	ナイスフィッシング	
6月	さ傘でアタック	ふりふりゲーム	七夕制作	七夕制作	
7月	風船運動	スカットボール	豆つかみ	ポケネット	数字合わせ
8月	ぼっ茶	一網打尽	割鍋閉蓋	夏祭り	
9月	取ったら負けよ	ふりふりゲーム	タオル体操	ペタンク	射的
10月		運動会	数字合わせ	スカットボール	一網打尽
11月	ポケネット	棒体操	芋煮会	カレンダー制作	
12月	カレンダー制作	ふりふりゲーム	ペタンク	年納めの会	数字合わせ
1月		お正月遊び	転がし卓球	測量ゲーム	返せ返せ
2月	鬼退治	カーリング	豆つかみ	数字合わせ	
3月	ペタンク	ポケネット	ふりふり	ペタンク②	数字合わせ

令和 3 年度

居宅介護支援センター茶園

事業報告書

居宅介護支援センター茶園



## 令和3年度 居宅介護支援センター茶園 事業報告

- 1、 ご利用者様のご自宅を訪問し、ご利用様の心身の状況、置かれている環境等を把握したうえで、居宅介護サービスおよびその他の必要な保健医療サービス、福祉サービスが、総合的かつ効果的に提供されるように専門的な立場から支援しました。
- 2、 主任介護支援専門員が自ら、医療機関および介護サービス事業者に出向き事業所の特色特徴を把握し、ご利用者様に紹介出来るよう努めました。また、医療機関および介護サービス事業所との連携を図り、ご利用者様をチームで支援するため、サービス担当者会議等の調整会議を積極的に開催しました。
- 3、 白石市地域包括支援センターおよび民生委員等から処遇困難ケース、末期がん・生活困窮者・ご家族への支援が必要なケース・一人暮らし認知症ケース等の相談あり。インフォーマルサービス（地域住民・ご親戚・民生委員）およびフォーマルサービス（医療機関・福祉事務所・介護サービス事業所等）を組み合わせることにより、安心安全に、ご利用者様が在宅で生活できるように支援しました。

# 居宅介護支援センター茶園（事業報告）

## 1.居宅介護支援利用事績（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

### (1) 居宅介護支援利用状況

月	新規契約件数	国保連請求件数	介護サービス 実績なし件数	契約終了件数
4月	1	5	0	1
5月	3	5	3	0
6月	2	7	3	0
7月	1	7	4	1
8月	1	7	5	2
9月	1	7	4	1
10月	1	8	3	0
11月	1	9	3	0
12月	2	10	3	1
1月	2	10	3	1
2月	1	13	1	0
3月	0	13	1	0
合計	16件	101件	33件	7件

### (2) 介護予防支援利用状況

介護予防プラン 請求	要介護者訪問件数
0	2
0	2
0	2
1	2
1	2
1	2
1	2
1	2
1	2
1	1
2	1
3	1
12件	21件

## 2.会議・研修等の実績

- (1) 居宅サービス計画担当者会議 14回実施
- (2) 第1回白石市介護支援専門員連絡協議会 1名参加（7/16 総会・口腔内細菌について）
- (3) 第2回白石市介護支援専門員連絡協議会 1名参加（9/17 高齢期に必要な栄養について）
- (4) 第3回白石市介護支援専門員連絡協議会 1名参加（11/19 障害者騒動支援法について）
- (5) 第4回白石市介護支援専門員連絡協議会 1名参加（1/31 リハビリ専門職的な見かた）
- (6) 第5回白石市介護支援専門員連絡協議会 1名参加（2/25 薬剤師から伝えたいこと）
- (7) 第1回白石市主任介護専門員連絡会 1名参加（11/19 事例検討会）
- (8) 白石市白川地区民生委員協議会 講師1名派遣（10/11 社会福祉法人伯和会の施設説明）
- (9) 令和3年度 主任介護支援専門員更新研修（5月～6月ズーム研修7日間）
- (10) 伯和会 産業医面談および衛生委員会の開催 12回開催（毎月第4水曜日）
- (11) 伯和会 内部研修会の開催 6回開催（毎月最終月曜日）

## 3.伯和会法人 他事業所支援

- (1) 地域密着型デイサービスセンター茶園（利用者送迎）

8：30～ 9：30 朝送迎支援

16：30～17：30 夕送迎支援

毎日（2時間×20日）40時間（5日分）

- (2) 軽費老人ホーム ケアハウスやまぶき（土曜・日曜・祝日の日直業務）

毎月2日間（8時間×2日間）16時間（2日分）

令和3年度  
特別養護老人ホームみずき  
事業報告書

社会福祉法人 伯和会

特別養護老人ホームみずき

## 施設基本理念

「愛をもって心を込めて安心できる当たり前の暮らしが送れるよう支援します」のもとユニットケアとしてご入居者の個々の状態・生活リズムに合わせたケアを確立し他職種との連携を密に深めることで個別性の高い、手厚いサービスを提供していきます。

## 施設運営方針

### ・安定した施設運営

定員 30 名。介護報酬で人件費が増大する中、入退居時の空床期間の削減、入院者を出さない為の健康管理、加算の取得、経費の削減に努めます。

※施設内設備の交換、外部への業務委託にて備品修理費等の削減と職員の業務改善（有償ボランティアの活用）を行いました。

#### (1)施設整備計画

問題発生が予測される箇所及び水周り等の点検を行い、計画的に整備を実施する。（外回り・エアコン・食洗器・ナースコール修繕等）

※令和 3 年度においては、各居室エアコン修理とナースコール修理、PC の有線化を行いました。

#### (2)備品・設備整備計画

(i) 介護機器、レクリエーション等に必要な備品を整備・入れ替え・補充をおこないます。（ベッド、マットレス、エアマット、リクライニング型車いす、歩行器、PHS、センサーマット、ビームセンサー等）

※令和 3 年度においては、PHS 修理とエアマット補充を行いました。

(ii) 消防設備については年 2 回の専門業者による定期点検の実施と、不備箇所が確認された際は早期の修理・更新実施により、安全対策を徹底します。

※令和 3 年度においては、異常なしでした。

(iii) 車両の法定定期点検のほか、日常のエンジンオイル交換やタイヤ点検などを励行し、必要があれば適切に修理・交換を実施し、常に安全に運行出来るように備えます。

※令和 3 年度においては、異常なしでした。

(iv) 各ユニットの備品を適切に管理し、使用に耐えなくなったものについては速やかに処分し、適切に入れ替え等をおこないます。（ソファ・テレビ・炊飯器等）

※令和 3 年度、入れ替え無

(v) 前各項のほか、建物内外のおよび周辺環境の整備、修繕、点検を定期的に行い安全・衛生の確保に努めました。

### ・人材育成と連携を活かした職場づくり

人材確保の為、インターネット媒体の求人に入れ、さらに学校・ハローワークなどへ

の連携情報提供をおこないます。しかし、即効性はない為、現職員の育成と定着化が必須と考えます。

※ハローワーク、インターネット媒体により2名採用しました。

※学校へのアプローチは、次年度の課題となりました。

外部研修への積極的な参加等を通じて、意識改革や向上心のボトムアップを図り、誇りを持てる職場づくりに努めます。

※外部研修は介護支援専門員更新研修を受講。その他、内部研修を定期的に行いました

(i) 年2回の健康診断及び生活習慣病・予防健診の実施。

※前年度に異常の所見があった職員に対して産業医との面談の実施しました。

(ii) 看護職員及び介護職員には年2回の腰痛診断を実施しました。

(iii) 管理者、役席者による個人面談を状況毎に随時行い、きめ細やかな意思疎通を図りました。

(iv) 年間研修・講習計画に基づいて、県及び県老人福祉施設協議会、県社会福祉協議会等が実施する施設従事者への各種研修・講習会に参加すると共に施設内においても接遇、虐待、介護技術等の研修を実施して職員の資質の向上を図ります。とくに介護技術に関しては、安全で、入居者・職員双方の負担の少ないケアの実現を目指します。

(別添 研修・講習計画書(案) 参照)

※令和3年度においては、介護職員の外部研修への参加はありませんでした。

(v) ユニットリーダー、介護福祉士、介護支援専門員、認知症介護実践リーダー、胃瘻と喀痰吸引等の事業運営に必須の有資格者の確保に努める。

※令和3年度においては、介護支援専門員更新研修へ1名

※喀痰吸引研修は次年度3名予定しています。

#### ・地域交流の活性化

ボランティアの受入、民生委員等施設開放日、家族交流日の設置

※新型コロナウイルス感染症の継続中にて未実施

### **事業内容**

#### ・日常生活介護 日常生活支援 健康管理

入居者サービス

##### ①健康管理

(i) 嘱託医、看護師による健康管理を行いました。

(ii) 歯科医師による歯科診療、歯科衛生士による口腔ケアを行いました。

(iii) 感染症予防接種、年1回の健康診断を行いました。

##### ②栄養管理

(i) 入居者個々の状態・体調を考慮し、必要な場合は配置医師による療養食等も含め栄養士による適切な献立作成はもとより、調理方法、味付け、盛り付けにも配慮し、栄養のバ

ランスが取れた食事提供を行いました。

- (ii) 地産地消に配慮し、季節感のある献立を取り入れました。
- (iii) 嗜好調査を実施し、その評価を分析により入居者が食べたくなる食事の提供に努めました。
- (iv) 嚥下食についても内容の充実など食欲増進と安全面の両立を図りました。
- (v) 異物等の混入の防止、感染症等に伴い適切な加熱、常に清潔で衛生的なキッチン環境の整備に心がけ、安心安全な食事の提供に努めました。

### ③機能訓練

兼務の機能訓練指導員（看護職員）と整復師による個人の状態に適した機能回復訓練をおこない身体機能の維持、回復を図りました。

### ④安全管理

- (i) 年 2 回以上(うち 1 回は夜間想定)の避難訓練の実施のほか、消防署・地元消防団とも密に連携を図り緊急時の対応を万全とする。また、火災・地震・風水害・土砂災害等を想定した避難訓練及び連絡網等の非常時に備えた体制を確立に努めました。
- (ii) 防災備品、非常食を適正に管理し、消費期限の到来するものは定期的に更新しました。

### ⑤行事、地域交流等（感染症の状況により）

- (i) お花見や買い物を含むドライブ等屋外活動をおこないません。  
※令和 3 年度、コロナ禍継続の為未実施
- (ii) 誕生会、クリスマス会、節分など各ユニットにおいて行事をおこないません。時には複数ユニットで共同実施し、ユニット間の親睦を深めました。
- (iii) 地元ボランティア・保育園児の訪問・地域交流活動を継続します。  
※令和 3 年度、コロナ禍継続の為未実施
- (iv) 家族交流会等の実施によりご入居様との交流を図ります。  
※令和 3 年度、コロナ禍継続の為未実施
- (v) 外部理容師による施設内散髪を定期的におこないません。  
※令和 3 年度、コロナ禍継続の為感染状況を鑑み不定期に実施しました。

# 施設入所実績報告書

利用年月：令和4年3月  
 サービス：51 福祉施設  
 事業者：特養 みずき  
 表示項目：収入実績等

## 1. 収入実績

令和4年	介護サービス費				特定入所介護サービス費				合計	平均/日					
	保険請求	公費請求	利用負担	公費負担	食費		居住費				利用料	軽減額			
					保険請求	公費請求	利用負担	公費請求					利用負担		
今月(3月)	9,614,835	0	1,068,315	0	222,425	0	628,680	485,894	0	695,640	0	1,353,621	0	14,069,410	453,851
先月(2月)	8,615,232	0	957,248	0	200,900	0	567,840	442,352	0	634,870	0	1,196,265	0	12,614,707	450,525
令和3年3月	8,916,714	0	990,746	0	607,416	0	447,720	627,266	0	919,360	0	657,582	0	13,166,804	424,735

## 2. 利用者介護度別

要介護度	令和2年度 3月	令和3年度												合計	平均/月		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
要介護2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護3	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
要介護4	13	13	12	13	14	12	12	13	12	12	12	12	12	14	14	13	157
要介護5	13	12	11	10	11	12	11	12	11	12	11	11	10	10	10	10	129
在籍計	32	31	30	30	32	31	31	31	31	31	31	31	31	30	31	30	369
総介護度	134	129	127	123	131	128	127	127	126	126	126	126	126	123	126	122	1,510
平均介護度	4.19	4.16	4.10	4.10	4.09	4.13	4.10	4.10	4.06	4.06	4.06	4.06	4.06	4.10	4.06	4.07	49.10
利用(在所) 日数 (30床)	882	861	907	871	925	871	925	924	894	904	876	906	930	930	832	930	10,760
入院 実人数	2	2	2	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7
延日数	37	31	16	27	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	82
外泊 実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	3
延日数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	4
居室稼働率(%)	94.84	95.67	97.53	96.78	99.46	99.35	99.33	97.20	97.33	97.42	100.00	99.05	100.00	99.05	100.00	1,179.12	98.26
令和2年度 利用(在所) 日数	900	907	886	891	881	850	929	881	930	930	919	839	882	10,695	891.25		
令和2年度 居室稼働率(%)	100.00	97.53	98.44	95.81	94.73	94.44	99.89	97.89	100.00	98.82	99.88	94.84	94.84	1,172.27	97.69		

令和3年度

軽費老人ホーム  
ケアハウスやまぶき

事業報告書



# 令和3年度 軽費老人ホーム ケアハウスやまぶき事業報告

## 基本方針

軽費老人ホーム(ケアハウス)は60歳以上(但し、60歳以上の配偶者と共に利用する者についてはその限りではない)で所得を問わず、自炊生活が出来ない程度の身体状況且つ、家庭環境や住宅事情などの理由により在宅にて生活が困難な高齢者にご入居いただき、食・住などの日常生活に必要なサービスを提供し、生きがいを持って健康で明るい生活を送れるよう支援しました。

## ケアハウスやまぶき 令和3年度事業報告

◎入居者の状況(令和4年3月31日現在)

### 人数 / 年齢

性別	人員	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	13名	96歳	69歳	79.9歳
女性	35名	97歳	70歳	87.5歳
合計	48名			85.3歳

### 年齢階層別人員

年齢 / 性別	男性	女性	合計	比率
60～65	0名	0名	0名	0%
66～70	3名	1名	4名	8.3%
71～75	2名	0名	2名	4.1%
76～80	2名	2名	4名	8.3%
81～85	2名	5名	7名	14.5%
86～90	2名	16名	18名	37.5%
91～95	3名	10名	13名	27.1%
96～	0名	1名	1名	2.04%
合計	14名	35名	49名	

### 月別入居者数(毎月末日現在の入居者数)

月 / 性別	男性	女性	合計	入居率
4月	14名	35名	49名	98%
5月	14名	35名	49名	98%
6月	13名	36名	49名	98%
7月	13名	36名	49名	98%
8月	14名	35名	49名	98%

9月	14名	34名	48名	96%
10月	14名	34名	48名	98%
11月	15名	34名	49名	100%
12月	16名	32名	48名	98%
1月	13名	33名	46名	94%
2月	13名	34名	47名	96%
3月	15名	32名	47名	96%
(のべ) 合計	82名	211名	293名	97.6%

※115号室・116号室の各夫婦部屋について、今般、各2名での利用を開始。

(入居率は、49名の満床換算で算定)

#### 令和3年度入退居者数

	男性	女性	合計
入居者数	3名	6名	9名
退居者数	4名	9名	13名

#### 年度内入居者の入居前の状況

場所 / 性別	男性	女性	合計
自宅、家族宅	4名	3名	3名
病院	0名	0名	0名
介護保健施設	1名	1名	2名
その他	0名	0名	0名
合計	1名	4名	5名

#### 年度内退居者の退居後の状況

場所 / 性別	男性	女性	合計
自宅、家族宅	0名	0名	0名
病院	1名	0名	1名
老人保健施設	0名	1名	1名
老人福祉施設	1名	2名	3名
死亡	0名	1名	1名
合計	2名	4名	6名

#### 年度内月別入院者数(毎月末日現在の入院者数)

月 / 性別	男性	女性	合計
4月	1名	1名	2名
5月	1名	2名	3名
6月	0名	2名	2名
7月	0名	1名	1名

8月	0名	2名	2名
9月	0名	1名	1名
10月	0名	1名	1名
11月	0名	2名	2名
12月	1名	0名	1名
1月	1名	2名	3名
2月	0名	2名	2名
3月	0名	2名	2名
合計	2名	9名	11名

入居者の IADL 状況(認定外でも家族等の支援必要な者含む)

区分 / 性別	男性	女性	合計	比率
自立	7名	5名	12名	25%
一部支援	7名	29名	36名	75%
合計	14名	34名	48名	

一部支援内訳(重複あり)

区分 / 性別	男性	女性	合計	比率
入浴	6名	12名	18名	37.5%
排泄	0名	1名	1名	2.0%
歩行	6名	20名	26名	54.2%
配膳	6名	22名	28名	58.3%
通院	8名	21名	29名	60.4%
掃除	8名	8名	16名	33.3%
洗濯	8名	9名	17名	35.4%

介護保険認定者数

認定外	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	合計
14名	2名	4名	11名	9名	7名	1名	48名

介護サービス利用状況(重複あり)

種別 / 性別	男性	女性	合計
ヘルパー	6名	10名	16名
デイサービス	4名	11名	15名
合計	10名	21名	31名

令和3年度年間行事実施内容は、コロナ感染症の為、ボランティア行事は中止

敬老会 9月24日	※内容：1部敬老会 2部夕食行事食（平禄寿司・茶碗蒸し・汁物） 祝品（百歳ひよ子紅白饅頭・マスク3枚・アクリルたわし2枚） 参加者：1部37名 2部46名 職員6名 （栄養士2人応援）
芋煮会 10月27日	※内容：食堂とベランダで昼食（シダックスで調理）100歳体操 参加者：42名 職員6名予定（栄養士2人応援） 芋煮（職員が味付け）・おにぎり・漬物・果物提供
クリスマス会 12月23日	※内容 ケーキとプレゼント。紅茶を飲みながら、音楽を聴きながら、楽しんでいただいた。 参加者40名（職員3名）（栄養士2人応援）

- 下原地区クリーン作戦（9/26 職員1名参加、2回目3/27 職員1名参加）
- 入居者懇談会（月1回）
- ゴミ回収支援（毎週火・金）
- 食堂立ち合い配膳下膳見守り支援
- 浴室・共用トイレ・館内・構内清掃、消毒
- 館内・居室内備品不具合時対応等
- 必要に応じ、ご家族・関係者への連絡・救急対応・生活・健康等に関する支援
- 職員による体重測定（月1回）
- コロナワクチン接種予に関する対応
  - 1回目 5/10（21名） 5/13（24名） 2回目 5/31（20名） 6/4（25名）
- インフルエンザ 11/11（35人）
- 令和3年度白石市住民健診（結核・肺がん）職員同行による送迎
  - 8/24（5名） 25日（6名） 26日（6名） 合計17名
- 毎月予定のボランティア等はコロナ禍で中止
  - ・ふれあい会（あったかい）（月1回月曜日 歌・お茶のみ会等）
  - ・七夕飾り作り 飾りつけ（あったかい）（年2回程）
  - ・朗読会（朗読サークルレモンの会）（第3金曜日）
  - ・上記以外に主に月1回行事（あしたば白石サークル中心）
- 園内販売（買物支援）・コロナ禍対応
  - ・毎週火曜日 岡崎商店（事前予約受付し玄関で牛乳・ゴミ袋・箱ティッシュ等購入）
  - ・隔週水曜日 ヤクルト販売（玄関にて実施：事前予約販売と直接販売で対応）
- 第1火曜日 キララ美容室（船岡）（事前予約受付連絡し、洗濯室前でカット・染め・パーマ・シャンプー）
- 白石クリーニング（入居者より依頼時）現在なし
- 第3月曜日 スパッシュランド白石（食堂で女性服・菓子等購入）（中止）
- 年2回（春秋）コダマ（仙台） 食堂で衣料・生活用品販売（中止）
- 事故報告
  - 特にありませんでした。
- 感染症対策（アルコール消毒、手洗、検温、マスク着用、）は、継続中。
  - 1月末に希望する方は、3回目のワクチン接種を実施。